

関係各位

## 2023 ディスクローチャー 訂正のお知らせ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当組合のホームページで公表しております「2023 ディスクローチャー」の記載に一部誤りがございました。謹んでお詫び申し上げますとともに、本日、以下のとおり、訂正いたしましたことのお知らせ申し上げます。なお、訂正箇所はフォントを赤色とし、下線を付しております。

### 1. 訂正箇所

- ① 20 ページ 主要な経営指標の推移
- ② 25 ページ (1)2022 年度自己資本の構成
- ③ 26 ページ (2)リスク・アセットと所要自己資本額
- ④ 29 ページ 1. 自己資本の充実の状況について

### 2. 正誤表

#### ① 主要な経営指標の推移

(単位:千円/口/人)

科 目	2022 年度	
	(正)	(誤)
経常収益	449,822	449,822
経常利益	38,119	38,119
当期純利益	24,841	24,841
預金積金残高	47,926,540	47,926,540
貸出金残高	13,439,443	13,439,443
有価証券残高	21,173,010	21,173,010
総資産額	52,423,432	52,423,432
純資産額	4,124,291	4,124,291
自己資本比率 (単体)	<u>12.00%</u>	13.09%
出資総額	51,480	51,480
出資総口数	1,029,600	1,029,600
出資配当金	3,110	3,110
職員数	25	25

#### ② (1)2022 年度自己資本の構成

(単位:百万円)

項 目	2022 年度	
	(正)	(誤)
コア資本に係る基礎項目 (1)		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	3,574	3,574
うち、出資金及び資本剰余金の額	51	51

うち、利益剰余金の額	3,526	3,526
うち、外部流出予定額(△)	3	3
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	0	0
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	0	0
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	3,554	3,554
コア資本に係る調整項目 (2)		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	0	0
うち、のれんに係るものの額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	0	0
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	—	—
適格引当金不足額	—	—
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—
前払年金費用の額	—	—
自己保有普通出資等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	—	—
信用協同組合連合会の対象普通出資等の額	—	—
特定項目に係る10パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	0	0
自己資本		
自己資本の額((イ)－(ロ)) (ハ)	3,574	3,574
リスク・アセット等 (3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	28,990	26,508
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△1,363	△1,668
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)	—	—
うち、繰延税金資産	—	—
うち、前払年金費用	—	—
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△1,363	△1,668
うち、上記以外に該当するものの額	—	—

オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	790	790
信用リスク・アセット調整額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—	—
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	<u>29,781</u>	27,299
自己資本比率		
自己資本比率((ハ)／(ニ))	<u>12.00%</u>	13.09%

③(2)リスク・アセットと所要自己資本額

(単位:百万円)

項目	2022年度			
	(正)		(誤)	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスク・アセット、所要自己資本の額合計	<u>28,990</u>	<u>1,159</u>	26,517	1,060
① 標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	<u>30,354</u>	<u>1,214</u>	28,186	1,127
(i) ソブリン向け	40	1	40	1
(ii) 金融機関向け	3,558	142	3,558	142
(iii) 法人向け	5,588	223	5,588	223
(iv) 中小企業等・個人向け	1,197	47	1,197	47
(v) 抵当権付住宅ローン	3,397	135	3,397	135
(vi) 不動産取得等事業向け	—	—	—	—
(vii) 3か月以上延滞等	—	—	—	—
(viii) 出資等	87	3	87	3
出資等のエクスポージャー	87	3	87	3
重要な出資のエクスポージャー	—	—	—	—
(ix) 他の金融機関等の対象資本等調達手段のうち対象普通出資等及び その他外部 TLAC 関連調達手段に該当するもの以外のものに係るエク スポージャー	<u>13,546</u>	<u>541</u>	11,055	442
(x) 信用協同組合連合会の対象普通出資等であってコア資本に係る調整 項目の額に算入されなかった部分に係るエクスポージャー	431	17	431	17
(xi) その他	<u>2,507</u>	<u>100</u>	2,830	113
② 証券化エクスポージャー	—	—	—	—
③ リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー	—	—	—	—
ルック・スルー方式	—	—	—	—
マンドート方式	—	—	—	—
蓋然性方式(250%)	—	—	—	—
蓋然性方式(400%)	—	—	—	—
フォールバック方式(1,250%)	—	—	—	—
④ 経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	0	0	0	0

⑤ 他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置によりリスク・アセットの額に算入されなかったものの額	<u>△1,363</u>	<u>△54</u>	△1,668	△66
ロ. オペレーショナル・リスク	790	31	790	31
ハ. 単体総所要自己資本額(イ+ロ)	<u>29,781</u>	<u>1,191</u>	27,299	1,091

④ 1. 自己資本の充実の状況について

(1) 自己資本比率

(正)	当組合は、多様化するリスクに対応するとともに、組合員の皆様のニーズに応えるため、経営の重要課題として財務基盤の強化に取り組んでいます。内部留保に努め、組合員数の拡大や業務の効率化、信組住宅ローンの獲得強化等に取り組んだ結果、2023年3月末における自己資本比率は <u>12.00%</u> となりました。これは国内基準である4%を大きく上回っています。なお、2014年3月末より新たな基準(バーゼルⅢ)に基づき自己資本比率を算出しています
(誤)	当組合は、多様化するリスクに対応するとともに、組合員の皆様のニーズに応えるため、経営の重要課題として財務基盤の強化に取り組んでいます。内部留保に努め、組合員数の拡大や業務の効率化、信組住宅ローンの獲得強化等に取り組んだ結果、2023年3月末における自己資本比率は 13.09%となりました。これは国内基準である4%を大きく上回っています。なお、2014年3月末より新たな基準(バーゼルⅢ)に基づき自己資本比率を算出しています

以上